

【北海道 MaaS(推進)研究会】設立に向けて

一般社団法人北海道産学官研究フォーラムは、昨年 12 月に交通イノベーション・シンポジウムを開催し「MaaS が北海道の未来をどう変えるのか」というテーマで議論し MaaS に関する理解を深めるとともに、道内の展開について議論しました。一方、国土交通省と経済産業省が連携し、MaaS プロジェクトである「スマートモビリティチャレンジ」を開始しました。道内でも札幌を含む5箇所が対象地域に選定されるなど、道内外における MaaS を推進する動きは加速しています。そこでこの度、今年 11 月に MaaS を北海道内に推進するための組織として北海道産学官研究フォーラム内に「北海道 MaaS 推進研究会」を設立することとしました。会長の札幌市立大学 学長の中島秀之氏をはじめとした有識者を中心に活動してまいります。

下記の日程で発足説明会を開催致します。是非、MaaS に関心があり、研究会の参画を検討されている皆様のご参加をお待ちしております。

【日時】:2020 年 10 月 8 日(木)13:30~15:00(開場 13:05~)

【会場】:札幌駅前ビジネススペース カンファレンスルーム2J(定員 30 名)

札幌市中央区北 5 条西 6 丁目 第 2 北海道通信ビル2F(一階に郵便局のあるビル)

設立趣旨

国是である Society5.0 の基本理念はサイバー空間(仮想空間)とフィジカル空間(現実空間)を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会課題の解決を両立する人間中心の社会を目指すことである。この動きは全産業のデジタル化によるデジタルトランスフォーメーションの動きにもつながっている。

北海道は、急激な人口減少が進み、従来の交通体系を今後どのように持続可能にしていくかが喫緊の課題となっている。中でもこれまで供給者側の発想で考えられてきた交通システムを利用者側の視点で捉え、その利便性を追求する MaaS(Mobility as a Service)の世界的な動きは注目に値する。国内においても未来投資戦略 2018 において Society5.0 の実現のためのフラッグシップ・プロジェクトとして MaaS が位置づけられ、2019 年 4 月より新たなモビリティサービスの社会実装にむけて経済産業省と国土交通省合同でスマートモビリティチャレンジが開始された。

所有から利用へのシフトを促進し、町や社会がクルマ中心から公共交通も含めた交通全体のシームレスな運用可能な状態に転換することは地域の活性化に繋がる。また移動の利便性が増して国内外の観光客の増加を見込めるとともに、地域に住む人の QOL の向上に繋がり、生産空間と生活空間の輸送においても自動運転など用途は幅広い。そこで一般社団法人北海道産学官研究フォーラムでは産学官それぞれの立場の異なる方々の知見を集めて北海道 MaaS(推進)研究会の設立を図る。

事業内容・検討内容

1. MaaS やスマートモビリティに関する各種イベントの開催
2. 産学官の関係者の連携推進と道内の MaaS に関連するプロジェクトの推進
3. MaaS オペレーター同士や MaaS と交通事業者間のデータ連携の推進
4. 都市型、地方型、生活型、観光型 MaaS の道内外の事例研究と推進
5. スマートモビリティチャレンジなどの国の施策との連携

推進体制

一般社団法人北海道産学官研究フォーラム内に「北海道 MaaS(推進)研究会」の事務局を設置し、幹事会を組織して道内の MaaS 推進に向けた活動を行う。

会員・会費

- 組織は会員制として、学会会員と企業会員で構成する。
- 会費に関しては、産学官 CIM・GIS 研究会を参考にする。
- 一般企業 5 万円、一般社団法人北海道産学官研究フォーラム正会員 2 万円
- 学会会員、官公庁の個人 無料

設立時期

2020 年 10 月 8 日(発足説明会)

2020 年 11 月発足予定